

交付運用報告書

好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース 〈愛称〉 US4^{クワッド}ストラテジー

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2016年10月25日～2017年4月24日）

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 第37期（決算日 2016年11月24日） | 第38期（決算日 2016年12月26日） |
| 第39期（決算日 2017年1月24日） | 第40期（決算日 2017年2月24日） |
| 第41期（決算日 2017年3月24日） | 第42期（決算日 2017年4月24日） |

受益者のみなさまへ

| 第42期末（2017年4月24日） | |
|---------------------------------------|----------|
| 基準価額 | 4,123円 |
| 純資産総額 | 3,204百万円 |
| 第37期～第42期 （2016年10月25日～2017年4月24日） | |
| 騰落率※ | 11.1% |
| 期中分配金合計 | 480円 |

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース」は、このたび第42期の決算を行いました。

当ファンドは、米国の取引所に上場されている株式等を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。また、オプションのプレミアム収入の獲得および為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

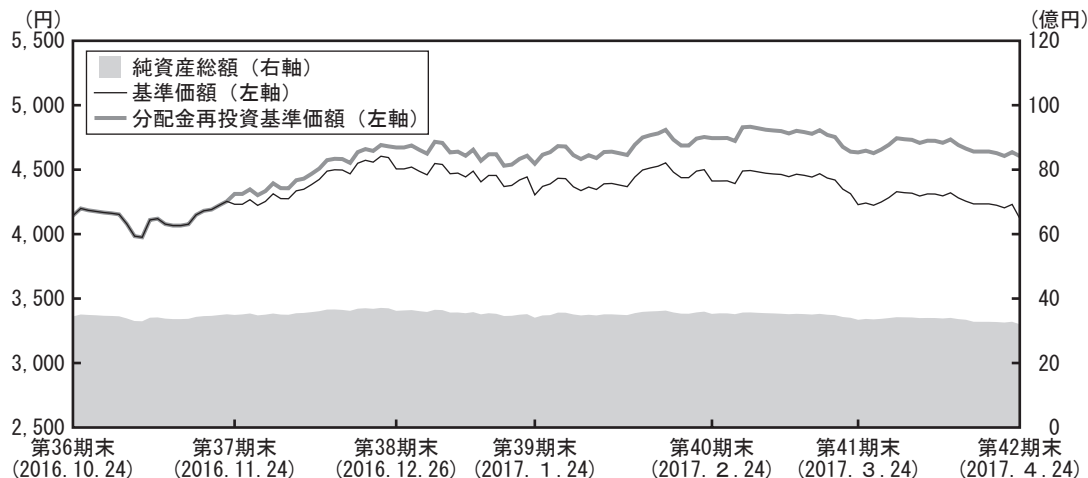
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第37期首：4,144円

第42期末：4,123円（期中分配金合計480円）

騰落率：11.1%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年10月24日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

当期の分配金再投資基準価額は、+11.1%となりました。主要投資対象である「TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス」が上昇したことから当期の分配金再投資基準価額は上昇しました。

（TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス）

住宅建設会社のMDC HOLDINGSや、中小企業への融資等を手がける投資会社のARES CAPITAL等の株価の上昇がプラスに寄与しました。加えて、ブラジルリアルやインドルピー等が円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第37期～第42期 | | 項目の概要 |
|-----------|--------------------------|---------|---|
| | (2016年10月25日～2017年4月24日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 22円 | 0.499% | (a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,353円です。 |
| （投信会社） | （9） | （0.215） | ファンドの運用の対価 |
| （販売会社） | （12） | （0.269） | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | （1） | （0.016） | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.000 | (b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ |
| （保管費用） | （0） | （0.000） | 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 |
| （監査費用） | （0） | （0.000） | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| （その他） | （0） | （0.000） | 信託事務の処理にかかるその他の費用等 |
| 合計 | 22 | 0.499 | |

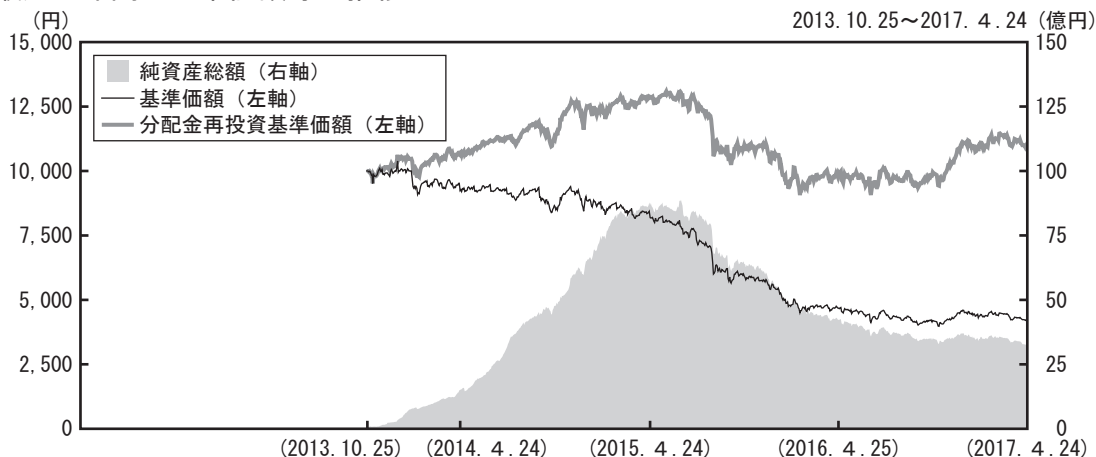
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

| 決算日 | | 2013年10月25日 設定時 | 2014年4月24日 決算日 | 2015年4月24日 決算日 | 2016年4月25日 決算日 | 2017年4月24日 決算日 |
|---------------|-------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 | (円) | 10,000 | 9,238 | 8,191 | 4,677 | 4,123 |
| 期中分配金合計（税引前） | (円) | — | 1,380 | 2,760 | 1,860 | 960 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%) | — | 6.5 | 20.8 | △ 22.9 | 10.0 |
| 純資産総額 | (百万円) | 69 | 1,500 | 8,672 | 4,224 | 3,204 |

■投資環境

○米国株式市場

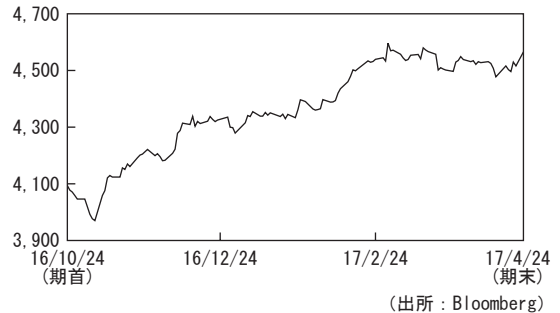
米国株式市場は、上昇しました。

期初は、大統領選挙を巡る不透明感から下落しましたが、事前予想に反し共和党候補のドナルド・トランプ氏の勝利が確定すると、同候補が公約に掲げたインフラ投資や大型減税等の財政支出拡大による米国経済の押し上げ期待に注目が集まり、米国株式市場は上昇に転じました。その後もトランプ新政権の経済政策に対する期待感が継続する中、米国経済が堅調に推移していることを示す雇用統計等の経済指標が発表されたこと等から、上昇基調が継続しました。3月以降は、トランプ政権が公約に掲げていた医療保険制度改革法（オバマケア）の代替法案の議会提出が見送られたことや、米国がシリア空軍基地へミサイル攻撃を行ったこと等を背景に、横ばいでの推移となりました。

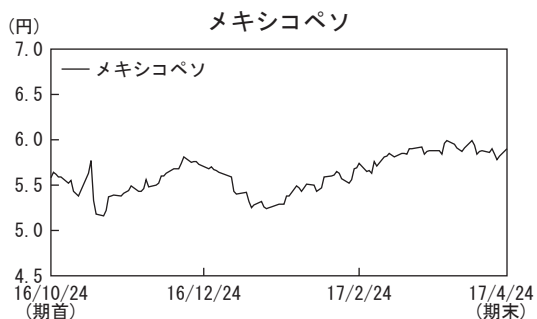
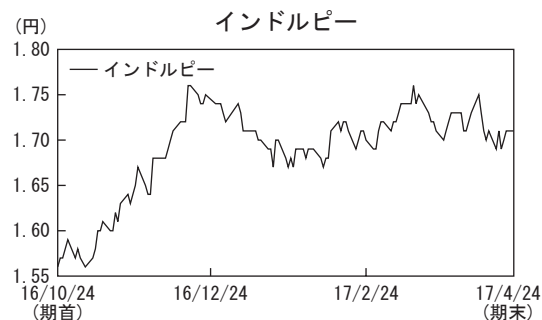
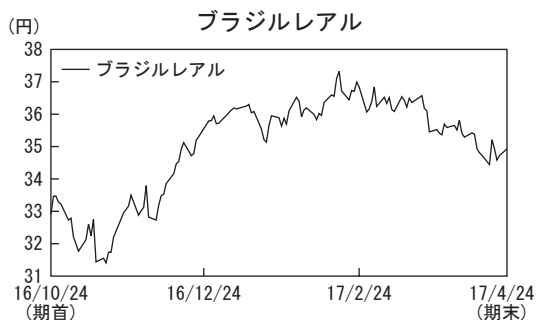
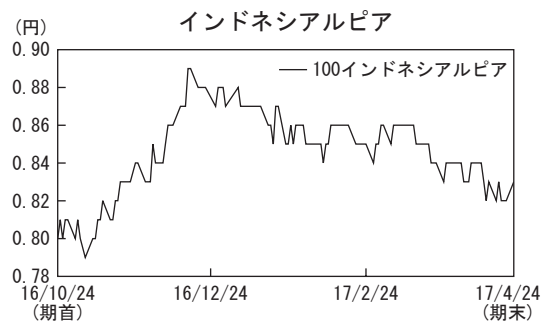
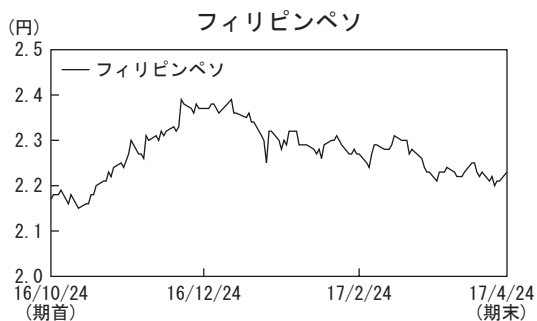
○為替市場

為替市場では、ブラジルレアルやインドルピー等の通貨が円に対して上昇しました。

S & P 500種指数（米ドルベース・トータルリターン）の推移



為替レートの推移 (対円)



(出所 : Bloombergおよび投資信託協会)

(注1) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。
 (注2) 当期末時点で保有している通貨について表示しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

「TCW ファンズ － TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス」への投資比率を、期を通じて高位に保ちました。期末の組入比率は94.7%でした。

(TCW ファンズ － TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス)

当ファンドは、米国の取引所に上場している株式（REIT含む）等の中から相対的に利回りが高いと考えられる銘柄を厳選して投資を行いました。全体のリスクやバランスに配慮し、幅広いセクターに分散投資を行いました。また、株式のカバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの上を目指しました。

為替取引においては相対的に金利水準が高く、成長が高いと考えられる通貨（ブラジルリアル、メキシコペソ、インドルピー、フィリピンペソ、インドネシアルピア）を購入しプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指しました。また、通貨カバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得も目指しました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略は、景況感の改善と日銀の追加緩和観測の後退により、11月以降は超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーション戦略を取りました。債券種別戦略は、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、TCW ファンズ － TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等を勘案し、合計で480円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第37期 | 第38期 | 第39期 | 第40期 | 第41期 | 第42期 |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2016年10月25日 ～2016年11月24日 | 2016年11月25日 ～2016年12月26日 | 2016年12月27日 ～2017年1月24日 | 2017年1月25日 ～2017年2月24日 | 2017年2月25日 ～2017年3月24日 | 2017年3月25日 ～2017年4月24日 |
| 当期分配金 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| (対基準価額比率) | 1.86% | 1.74% | 1.82% | 1.78% | 1.86% | 1.90% |
| 当期の収益 | 69 | 68 | 66 | 67 | 65 | 66 |
| 当期の収益以外 | 10 | 11 | 13 | 12 | 14 | 13 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,846 | 2,835 | 2,823 | 2,811 | 2,797 | 2,784 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース)

主として「TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」の投資信託証券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。

原則として、「TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス」への投資比率を高位に保ちます。

(TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス)

当ファンドでは、REITやオルタナティブ資産運用会社への投資を含め、引き続き金融セクターを嗜好しています。今後も市場動向を注視しつつ、個別銘柄選択およびカバードコール戦略を活用して、高水準の配当収入の確保と信託財産の成長を目指した運用を実施していきます。

また、為替取引においては相対的に金利水準が高く、成長が高いと考えられる通貨を購入しプレミアム(金利差相当分の収益)の獲得を目指します。加えて、通貨カバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得も目指します。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

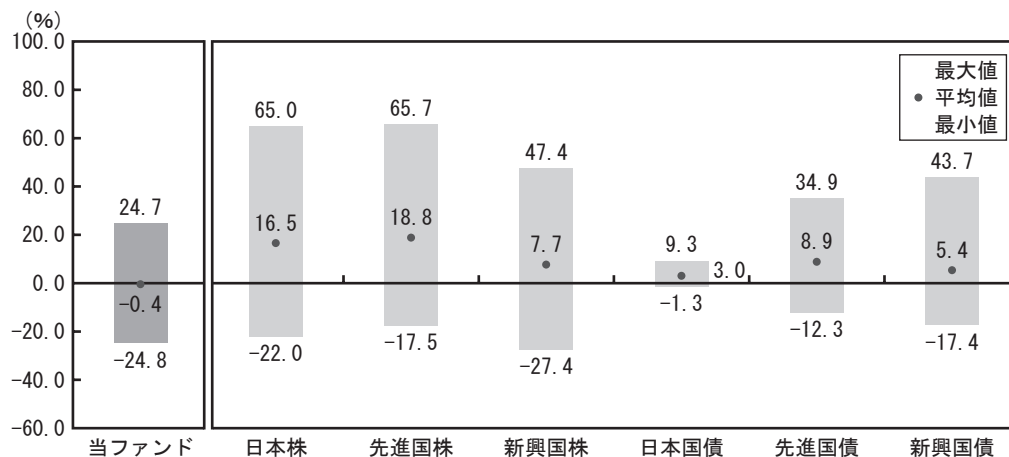
金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、現在の非国債をオーバーウェイトする戦略を継続します。

■当該投資信託の概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 2013年10月25日から2018年10月24日まで | |
| 運用方針 | インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。 | |
| 主要投資対象 | 好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコース | 「TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド 通貨セレクトプレミアムシェアクラス」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」 |
| | TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド | 米国の取引所に上場されている株式等 ※TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンドの運用はTCWアセットマネジメントカンパニーが行います。 |
| | 損保ジャパン日本債券マザーファンド | 日本の公社債 |
| 運用方法 | <p>①米国の取引所に上場されている株式等を実質的な主要投資対象とし、相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行い、配当収入等の確保と信託財産の成長を目指します（好配当米国株式戦略）。</p> <p>②「株式オプション・プレミアム戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。</p> <p>③原則、相対的に流動性、金利水準が高い通貨への為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得を目指します（通貨セレクト戦略）。</p> <p>④「通貨オプション・プレミアム戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。</p> | |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みません。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> | |

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2014年10月～2017年3月
 代表的な資産クラス 2012年4月～2017年3月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

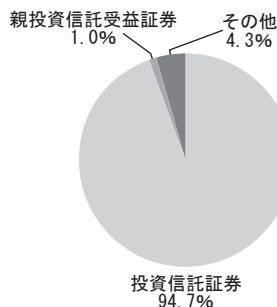
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

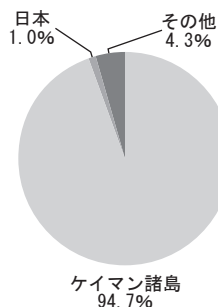
| | 第42期末 |
|---|------------|
| | 2017年4月24日 |
| TCW High Income US Equity Premium Fund Currency Select Premium Share Class | 94.7% |
| 損保ジャパン日本債券マザーファンド | 1.0% |

（注）比率は第42期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第42期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

| 項目 | 第37期末 | 第38期末 | 第39期末 | 第40期末 | 第41期末 | 第42期末 |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2016年11月24日 | 2016年12月26日 | 2017年1月24日 | 2017年2月24日 | 2017年3月24日 | 2017年4月24日 |
| 純資産総額 | 3,493,244,094円 | 3,620,913,910円 | 3,407,708,392円 | 3,526,530,708円 | 3,342,474,786円 | 3,204,687,069円 |
| 受益権総口数 | 8,254,032,281口 | 8,035,156,505口 | 7,917,433,361口 | 7,993,344,394口 | 7,904,555,826口 | 7,772,264,409口 |
| 1万口当たり基準価額 | 4,232円 | 4,506円 | 4,304円 | 4,412円 | 4,229円 | 4,123円 |

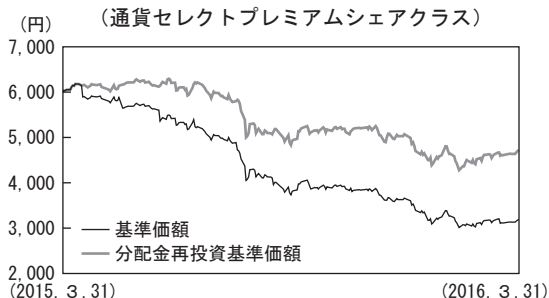
※当作成期間（第37期～第42期）中における追加設定元本額は817,372,385円、同解約元本額は1,358,378,910円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<TCW ファンズ - TCW ハイ インカム US エクイティ プレミアム ファンド>

○基準価額の推移



- ・基準価額は、好配当米国株式プレミアム・ファンド 通貨セレクト・プレミアムコースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- ・分配金再投資基準価額は、2015年3月31日の基準価額に合わせて指数化しています。

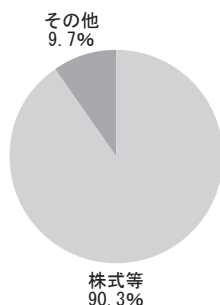
○組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 業種 | 比率 |
|-------|--|----------|------|
| 1 | ALTRIA GROUP INC | 生活必需品 | 5.7% |
| 2 | CHUBB LTD | 金融 | 5.2% |
| 3 | PHILIP MORRIS INTERNATIONAL COMMON STOCK | 生活必需品 | 5.0% |
| 4 | VERIZON COMMUNICATIONS COM | 電気通信サービス | 4.9% |
| 5 | NIELSEN HOLDINGS PLC | 資本財・サービス | 4.3% |
| 6 | PEPSICO INC COMMON STOCK | 生活必需品 | 4.2% |
| 7 | SIMON PPTY GROUP INC NEW COM | 金融 | 3.9% |
| 8 | NEXTERA ENERGY INC | 公益事業 | 3.7% |
| 9 | PPL CORP COM | 公益事業 | 3.7% |
| 10 | MICROSOFT COMMON STOCK | 情報技術 | 3.6% |
| 組入銘柄数 | | 28銘柄 | |

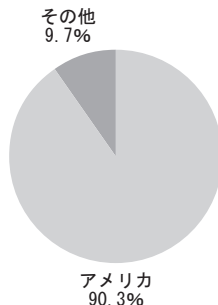
○1万口当たりの費用明細

当該期間（2015年4月1日～2016年3月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

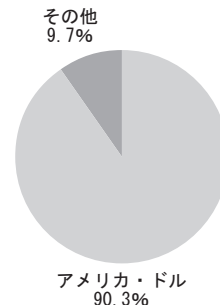
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



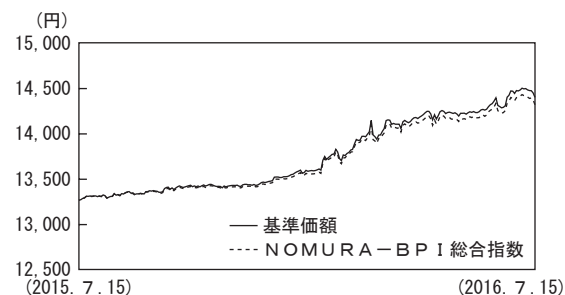
(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2016年3月31日）現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。その他には、現金等が含まれます。

(注3) 組入上位10銘柄は、TCW アセット マネジメント カンパニーが作成したデータを掲載しています。資産別配分、国別配分および通貨別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。

<損保ジャパン日本債券マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク (NOMURA-BPI 総合指数) の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

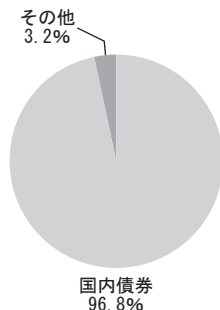
| | 銘柄名 | 債券種類 | 償還日 | 比率 |
|-------|-----------|------|------------|-------|
| 1 | 365 2年国債 | 国債証券 | 2018/6/15 | 12.6% |
| 2 | 342 10年国債 | 国債証券 | 2026/3/20 | 5.2% |
| 3 | 341 10年国債 | 国債証券 | 2025/12/20 | 5.0% |
| 4 | 157 20年国債 | 国債証券 | 2036/6/20 | 4.9% |
| 5 | 363 2年国債 | 国債証券 | 2018/4/15 | 4.9% |
| 6 | 152 20年国債 | 国債証券 | 2035/3/20 | 4.5% |
| 7 | 151 20年国債 | 国債証券 | 2034/12/20 | 4.5% |
| 8 | 156 20年国債 | 国債証券 | 2036/3/20 | 4.1% |
| 9 | 100 20年国債 | 国債証券 | 2028/3/20 | 2.9% |
| 10 | 150 20年国債 | 国債証券 | 2034/9/20 | 2.8% |
| 組入銘柄数 | | | 64銘柄 | |

○1万口当たりの費用明細

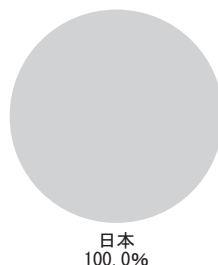
(2015年7月16日～2016年7月15日)

| 項目 | |
|----------------|-----------|
| その他費用 (その他) | 0円 (0) |
| 合計 | 0 |

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2016年7月15日)現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント